

学校関係者評価報告書

愛媛県立北条高等学校

学校番号：19

評価実施日		令和4年3月10日(木)	
委員	氏名	所属等	備考
	西原 豊徳	前北条市役所総務課長	
	丸山 英昭	北条地区まちづくり協議会地域活性化部部长	
	矢野 裕司	北条ふれあいセンター館長	
	秋山 昌江	聖カタリナ大学人間健康福祉学部長	欠席
	田中 匡史	北条浅海郵便局長	欠席
	高智 誠司	北条北中学校長	欠席
	坂本ハルナ	北条高等学校PTA会長	
杉野 巻男	旧堀江小学校長	欠席	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校生活全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で制限が多い中だが、公開授業を参観したり、吹奏楽部定期演奏会や文化祭等を見させてもらい、北条高校生はよく頑張っていると感じる。 ・新型コロナウイルス感染症に対しても、よく踏ん張っている。 ・ホームページ閲覧を楽しみにしている。日常の学校生活を見ることができ、高校生の豊かな表情からその充実ぶりがわかる。 ・学校防災教育実践モデル地域研究事業によって、身近な防災について、家庭で話し合うことができた。 <p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の「私のライフプラン」発表会では、将来について個々の生徒が真剣に考え、教員がしっかりサポートしている様子がうかがえた。総合学科の特徴的な取組であり、生徒の成長に繋がるよう今後も継続してほしい。 ・一人一台端末やスマートフォンは、今の高校生活と切り離すことはできない。その利用については工夫が必要である。リモートで様々なことを行う必要があると思うが、できるだけリアルティのあるものに近づけてほしい。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの持込を許可制にしているようだが、持ち込ませる以上は、しっかり責任感を植えつけてほしい。どのような制度になっているのか。 ・「ながらスマホ」を絶対にさせないよう、指導をお願いしたい。 <p>(4) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は短期大学進学者が増加しているが、何か理由はあるのか。 <p>(5) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数の減少により、放課後の活気が少なくなっている気がする。 ・部活動の加入状況はどのようになっているか。1年次生は全員加入することになっているか。ぜひ加入させ、部活動を盛り上げてほしい。 <p>(6) 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上での人権だより掲載など、人権同和教育に学校全体で取り組んでいることがよくわかる。新型コロナウイルス感染症の対応は、人間の差別心を浮き彫りにした。学校での人権同和教育に期待したい。 <p>(7) 保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北条高校の新型コロナウイルス感染症対策はどのようになっているか。また、感染状況はどうか。 <p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットが離せない状況ではあるが、活字離れにならないよう努めてほしい。 ・教員アンケート分析で、教員間の協力体制について述べられていたが、ぜひ胸を張ってほしい。厳しく自己分析したと捉えてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスを完全に封じ込めることはできないが、日々の学校生活の中で実施している感染症対策が評価され、励みになる。様々な行事に対して、できない理由を探すのではなく、できる方法を考え、生徒にいろいろな体験を積ませられるよう取り組みたい。 ・なにげない日常を発信することをテーマに、今年度ホームページの更新に努めてきた。評議員の方から、「楽しみにしている」という言葉をいただき、うれしい限りだ。来年度もこの取組を継続させていきたい。 ・防災に対する意識を向上させるため、今年度の取組を生かし、生徒に刺激を与え続ける必要がある。今年度新たに連携させていただいた地域の自主防災組織や松山市危機管理課、愛媛大学との連携を強化していきたい。 ・本校の学校設定科目「産業社会と人間」の学習の集大成として、「私のライフプラン」発表会を毎年行っている。内容的には不十分な部分もあるが、着実に生徒が成長している姿を確認でき、学校としてもうれしく思う。3年次で行う「総合研究」に繋げ、生徒の発信力・表現力が伸びるよう取り組んでいきたい。 ・教員それぞれのICT技術向上のため、また、万が一を想定して遠隔授業に取り組んできた。まずは夏休み中の登校日や土曜ゼミをリモートで行った。また、欠席者がいる講座では、通常でもリモート授業を行っている。ご指摘をいただいた通り、Face to Faceの感覚に近づけ、学びを止めないよう経験を積み重ねたい。 ・スマートフォンの持込申請書に確認事項を記載し、校内持込ルールを徹底するようにしている。不必要な時に使用していた事例が昨年度より増加しているため、公共の場所での利用マナーを周知徹底していきたい。 ・今年度の自転車事故は4件で、幸い大きな事故には至っていない。過去に痛ましい事故を経験した本校は、命を守る教育を大切にしている。ながらスマホの危険性を、ショートホームルームや「命の授業」、集会等で機会あるごとに訴え、意識を高めていきたい。 ・特別な指導をしたわけではないが、年によって、志望の傾向に違いがある。生徒・家族が何を求めているかをしっかりと把握し、適切な指導を心掛けた。今後も、大学・短大・専門学校等との連携を密に行い、オープンキャンパスへの参加や出張講義だけでなく、上級学校の高い専門性に着目した共同研究などの道を探りたい。 ・1年次生は全員何かに所属するようにしている。全員が何かに入部することに賛否あるが、社会集団の中で学ぶことの意義を重視している。途中で部を変更する生徒ももちろんおり、部顧問同士で連携して臨機応変に対応している。ちなみに2・3年次生の部活動加入率は86.7%である。 ・生徒数減は否めないため、今後部の統廃合を実施していかなければならない。一方で、今年度5つの部が全国大会に出場した。3月には、なぎなた部、レスリング部が選抜大会に出場する。全国大会出場は、学校全体を活性化するので、頑張らせたい。 ・アクアランドでは、水族館経営だけでなく、環境保全学習に力を入れた。今年作成した作品(環境保護を訴えたオブジェ)は松山市から高く評価され、市内の小学校を巡回し展示されている。北条地区の小学校では、ワークショップや自作絵本の読み聞かせも実施できた。今後も"できること"を見つけ考え交流していきたい。 ・学校評議員のお力添えて、坂村真民記念館西澤孝一館長の講演会を、リモートではあるが実施することができた。生徒全員が真剣に参加し、自分たちの行動を見つめ直すきっかけとなった。その後応募した本校生徒の作文が、優秀賞を受賞し記念館から表彰されることになったことはとても喜ばしい。ご指摘いただいた人間の差別心を摘み取れるよう今後も学習に取り組みたい。 ・担任・副担任で毎朝検温を確実にし、常時の換気、マスク着用、放課後の消毒を実施している。特に、昼食時はクラスを二つに分け、座席指定で朝食を徹底している。大変な時期もあったが、日頃の感染症対策が実施できていたため、被害を最小限で食い止めることができた。今後も、感染症対策を地道に徹底して取り組みたい。 ・もう一度、朝読書の重要性を学校全体で共有したい。タブレットと紙媒体の使用を両立させ、生徒の読解力の向上に努めていきたい。来年度は学校訪問研修もあり、そのきっかけとしたい。 ・個々の仕事量が多いのは間違いない。仕事が特定の教職員に偏らないよう、またより協力体制が築けるよう配慮したい。 	